

第5回総合的病虫害・雑草管理（IPM）実践指針の見直しに関する検討会 議事概要

日時：令和7年5月29日（木）10:00～12:00

場所：オンライン形式（Web 会議）

出席者：【委員】芦澤委員、大野委員、兼松委員、草間委員、佐藤委員、清水委員、下田委員、

曾根委員、津田委員（座長）、長坂委員（座長代理）、藤森委員

【事務局】消費・安全局植物防疫課 春日井防疫対策室長、岡田課長補佐、藤井専門官、千葉

春日井防疫対策室長から冒頭挨拶の後、事務局から配布資料に沿って説明。

各項目における委員からの発言及び事務局回答の要旨は以下のとおり。

議事1 IPM 実践指針の見直し（総合防除実践ガイダンス（仮称）の策定）

事務局から、総合防除の実践ガイドライン（案）について説明。

委員からは、「ガイドライン案の各項目における改定に向けた提案」及び「サブタイトルの付け方」について、様々な意見が挙がった。

各委員からの主な意見は以下のとおり。なお、欠席された委員からも事前に意見を提出いただいている。

- ・「別紙1」に関して、生物的防除に係る予防の欄、「選択性殺虫剤の使用」を「選択性農薬の使用」と修正すべき。天敵に影響がある農薬は殺虫剤に限らない。現場でも殺虫剤の影響のみ気をつければ良いという誤解がしばしばあることから訂正すべき。また、気門封鎖剤について、物理的防除の欄に記載されているが、その整理で問題ないか。（→文献から物理的防除と化学的防除にそれぞれ記載）
- ・「別紙1」に関して、雑草防除に係る措置が少ない印象を受ける。例えば有機農業で用いられるような他に記載可能な雑草防除手段があれば、追記すべき。
- ・ガイドライン案の副題について、メインタイトルとサブタイトルの両方に「総合防除」が出てくる案となっているが、重複は避けるべきで、メインタイトルをかみ砕いた内容を副題に示すべき。副題に「総合的病虫害・雑草管理（IPM）」と記載してはどうか。また、ポイントは「予防・予察に重点を置く」ことであることから、そのことに絞ってはどうか。
- ・「メリットの明確化」が「予防・予察に重点を置いた」にかかってしまっているように見えるため、位置を変えた方が良い。
- ・一番伝えたい内容は、「「予防・予察」に重点を置いた」総合防除であり、これをいかに浸透・普及させていくかが重要となることから、これに内容を絞ったサブタイトルにした方が伝わりやすいのではないか。
- ・サブタイトルとはいわば「キーワード」であるため、本ガイドラインにおけるキーワードが何かを精査した上で、サブタイトルを検討すべき。
- ・「IPM（総合的病虫害・雑草管理）」に関して、入れても良いがタイトルの総合防除と意味は同じ。無理に入れる必要はないと思う。「病虫害・雑草管理」といった言葉などを入れるのはどうか。

（事務局回答）

- ・副題についてはいただいたご意見も踏まえて検討する。ガイドライン案は、本日の意見を踏まえて修正し、都道府県への意見照会後、パブリックコメントを行うこととする。

議事 2 その他必要な事項

1. 事務局から、総合防除実践指標モデルの作成方針について説明した。また、第4回検討会の際に施設ピーマンをナス科作物や施設果菜類などにまとめる提案があったものの、候補に含めるかの結論が出なかったが、事務局としては、施設トマトと管理項目が重複しているため候補から外したい旨の説明を行い、各委員の意見を伺った。

委員からは、実践指標モデルの作成と各都道府県による実践指標の作成に係るスケジュール感については問題ないとされ、その他モデルを作成する作物の候補について様々な意見が挙げられた。

各委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・施設ピーマンの新規作成については、天敵利用のバリエーションもあり、新規作成候補に施設栽培に関するものがないことにも鑑みて、候補として良いとされた。（→他の委員から反対意見なし）

2. 事務局から、資料3：広域型総合防除体制の推進について説明。

委員からは、各地域における広域防除に関する事例が挙げられた。

各委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・岩手県の実証は減農薬を目的としたものであり、他の事例は適期防除がその目的と考えられる。
- ・青森県でのりんご広域防除に関して、特にフェロモン剤の利用はヒアリング対象にできると考えられる。
- ・これまでに、日植防シンポジウムで取り上げた事例では、群馬県嬬恋村のキャベツ、熊本県玉名市のトマトが挙げられる。他に、岩手県のりんご栽培（農薬50%削減）もある。また、岩手県が実証予定の隔年防除に関しては、福井県が先行して取り組まれていると考えられるので、確認してみてはどうか。

- ・第5回検討会はこれで終了。総合防除実践ガイドラインの案については、委員からの追加の意見を反映させ、副題の修正等も踏まえて、本委員会での取りまとめ案とした。

以上